

スコアシート

SMA拡大Hammersmith 運動機能評価スケール (HFMSE)

Expand Hammersmith Functional Motor Scale
for SMA

監修

東京女子医科大学 臨床ゲノムセンター 所長

齋藤 加代子 先生

監修

東京女子医科大学 リハビリテーション科 教授 (2020年3月 監修時の所属)

猪飼 哲夫 先生

The Hammersmith Functional Motor Scale Expanded (HFMSE) manuals were developed by the Pediatric Neuromuscular Clinical Research Network (PNCRN). The manual of procedures and proforma for the HFMSE were produced in collaboration with The Jennifer Trust for Spinal Muscular Atrophy-Smartnet. Permission for its use was granted by the PNCRN.

氏名:	所要時間:	時	分
生年月日: 年 月 日 (年齢: 歳 ヲ月)	脊椎手術日:	年	月 日
評価日: 年 月 日	評価者:		
現時点で最高の移動能力に丸を付けてください: 全く移動できない 寝返り 臀部を引きずって移動 腹這い/四つ這い、 杖/歩行器/歩行車を用いた歩行 装具を用いた歩行 自力歩行			

SMA Hammersmith運動機能評価スケール (HFMS)							
項目	指示	2	1	0	LBC	点数	コメント
1 台/床での座位	手で支えないで、3つ数える間、座ってください	手の支持なしで3つ数える間、もしくはそれ以上、座位を保持できる	片手支持で3つ数える間、座位を保持できる	両手支持で座位を保持できる、または座位を保持できない			第1項目 脊椎によくみられる姿勢 
2 長座位	手で支えないで、足をまっすぐ伸ばして3つ数える間、座ってください。足を開いてはいけません	手の支持なしで3つ数える間、長座位を保持できる	片手支持で3つ数える間、長座位を保持できる	両手を用いて3つ数える間、長座位を保持できる、または長座位を保持できない			下肢によくみられる姿勢  脊椎および下肢にみられる姿勢に丸を付けてください
3 座位で片手を頭部に挙上	首を曲げないで、片手を頭まで挙げてください	頭部および体幹は動かさずに、片手を頭部まで挙上できる	頭部を屈曲または側屈させることで、片手を頭部まで挙上できる	頭部および体幹を動かしても、片手を頭部まで挙上できない			右/左
4 座位で両手を頭部に挙上	首を曲げないで、両手を同時に頭まで挙げてください	頭部および体幹は動かさずに、両手を頭部まで挙上できる (手は体に這わせない)	頭部を屈曲もしくは側屈する、または両手を体に這わせながら挙げるか片手ずつ挙げることで、両手を頭部まで挙上できる	両手を頭部まで挙上できない			
5 背臥位から側臥位へ	左右両側へ、横向きになるまで寝返りしてください	左右両側へ背臥位から側臥位に寝返りできる	片側のみ背臥位から側臥位に寝返りできる 右/左	左右両側とも背臥位から側臥位に寝返りできない			両肩を結ぶ線が床と垂直になり、体幹および骨盤が体と一列になる
6 腹臥位から右回りで背臥位へ	左右両側へうつぶせからおむけに寝返りしてください。手はなるべく使わないようにしてください	上肢を使わずに、右回りで背臥位に寝返りできる	上肢を使って、右回りで背臥位に寝返りできる	背臥位に寝返りできない			
7 腹臥位から左回りで背臥位へ		上肢を使わずに、左回りで背臥位に寝返りできる	上肢を使って、左回りで背臥位に寝返りできる	背臥位に寝返りできない			
8 背臥位から右回りで腹臥位へ	左右両側へあおむけからうつぶせに寝返りしてください。手はなるべく使わないようにしてください	上肢を使わずに、右回りで腹臥位に寝返りできる	上肢を使って、右回りで腹臥位に寝返りできる	腹臥位に寝返りできない			
9 背臥位から左回りで腹臥位へ		上肢を使わずに、左回りで腹臥位に寝返りできる	上肢を使って、左回りで腹臥位に寝返りできる	腹臥位に寝返りできない			

SMA Hammersmith運動機能評価スケール (HFMS)

項目	指示	2	1	0	LBC	点数	コメント
10 座位から 背臥位へ	座っている姿勢から、ゆっくりと安全にあおむけになってください	側臥位を介して、または衣服を利用して正中位からコントロールを失わず/安全に背臥位になることができる	前方への転倒や、横転または腹臥位を介して、コントロールを失わず/安全に背臥位になることができる	できない、またはコントロールを失う/危険な方法で背臥位になる			
11 前腕支持	肘から先を床について体を支え、その姿勢を3つ数える間、保ってください	両肘をついて体を支えて頭部を挙上し、その姿勢を3つ数える間、保持できる	介助によって頭部を挙上した姿勢をとらせれば、その姿勢を3つ数える間、保持できる	できない			
12 腹臥位から 頭部を挙上	両腕を体の横に置いて頭を持ち上げ、その姿勢を3つ数える間、保ってください	上肢を体側に置いて頭部を挙上し、その姿勢を3つ数える間、保持できる	上肢を前方に置いて頭部を挙上し、その姿勢を3つ数える間、保持できる	できない			
13 手支持	両手を床について体を支え、その姿勢を3つ数える間、保ってください	手支持で頭部を挙上し、その姿勢を3つ数える間、保持できる	介助によって手支持で頭部を挙上した姿勢をとらせれば、その姿勢を3つ数える間、保持できる	できない			
14 背臥位から 座位へ	うつぶせにならないで、あおむけから座ってください	背臥位/側臥位を介して座位になることができる	腹臥位または床を向くことで座位になることができる	できない			
15 四つ這い	四つ這いになって頭を持ち上げ、その姿勢を3つ数える間、保ってください	四つ這いになって頭部を挙上し、その姿勢を3つ数える間、保持できる	介助によって姿勢をとらせれば、その姿勢を3つ数える間、保持できる	できない			
16 四つ這い移動	前に、這って進んでください	両手両膝を2回以上動かして、前方に進むことができる	両手両膝を1回動かす	できない			
17 背臥位から 頭部を挙上	両腕を胸の前で組んだまま頭を持ち上げて、3つ数える間、つま先をみてください	頭部は正中線上で挙上し、顎を胸に近づけ、その姿勢を3つ数える間、保持できる	側屈を介して、または前突によって頭部を挙上し、その姿勢を3つ数える間、保持できる	できない			
18 支持あり立位	片手を支えにして、3つ数える間、立っててください	片手支持で3つ数える間、立位を保持できる	臀部を含まない体幹の最小限の介助のみで、3つ数える間、立位を保持できる	膝、臀部の介助によって、3つ数える間、立位を保持できる、またはできない			
19 支持なし立位	何もつかまらずに、3つ数える間、立っててください	つかまらずに、3つ数えるより長い間、立位を保持できる	つかまらずに、3つ数える間だけ立位を保持できる	瞬間的に(3つ数えるより短い間)、立位を保持できる、またはできない			
20 歩行	何も触らずに歩いてみてください	補助なしで5歩以上、歩行できる	補助なしで2~4歩、歩行できる	できない			
点数		2の個数	1の個数	0の個数			合計得点 /40

LBC : 拘縮のため制限あり

SMA拡大Hammersmith運動機能評価スケール (HF MSE) 追加モジュール

項目	指示	2	1	0	LBC	点数	コメント
21 背臥位での 右股関節屈曲	左右の膝を胸まで 持ってくるように足 を曲げてください。 手は使わないよう にしてください	右股関節を完全に 屈曲できる(最大 可動域>110度)	右股関節と膝関節 を可動域の10%以 上屈曲できる	できない			
22 背臥位での 左股関節屈曲		左股関節を完全に 屈曲できる(最大 可動域>110度)	左股関節と膝関節 を可動域の10%以 上屈曲できる	できない			
23 膝立ちから 右片膝立ちへ	左足を前に出し、 右片膝立ちになり、 腕を使わず、その 姿勢を10数える 間、保ってください	上肢の支持なしで、 10数える間、右片 膝立ちを保持でき る(姿勢を変えるた めに上肢は使える)	片側の upper limb で支持 すれば、10数える 間、右片膝立ちを 保持できる	できない			
24 膝立ちから 左片膝立ちへ	右足を前に出し、 左片膝立ちになり、 腕を使わず、その 姿勢を10数える 間、保ってください	上肢の支持なしで、 10数える間、左片 膝立ちを保持でき る(姿勢を変えるた めに上肢は使える)	片側の upper limb で支持 すれば、10数える 間、左片膝立ちを 保持できる	できない			
25 膝立ちから 左足を前に出し 立位へ	手を使わずに、膝 立ちになり、左足 を前に出して立ち 上がってください	上肢の支持なしで 立位になることが できる	上肢で支持する、 支持しないにかか わらず、両膝にか かっている体重を 移動して起立動作 を開始することが できる	起立動作を開始で きない			
26 膝立ちから 右足を前に出し 立位へ	手を使わずに、膝 立ちになり、右足を 前に出して立ち上 がってください	上肢の支持なしで 立位になることが できる	上肢で支持する、 支持しないにかか わらず、両膝にか かっている体重を 移動して起立動作 を開始することが できる	起立動作を開始で きない			
27 立位から 床座位へ	ゆっくりと床に座っ てください。腕はな るべく使わないよ うにしてください	上肢を使わず、崩 れ落ちることなく 座位になることが できる	上肢を使えば座位 になることができ る、または崩れ落 ちながら座位にな ることができる	できない			
28 スクワット	低い椅子に座るよ うにしゃがんでく ださい	上肢の支持なしで スクワットができ る(股関節および膝 関節を90度以上 屈曲)	上肢で支持すれば、 スクワットができ る(10%以上)	始めることができ ない			
29 前方に 30cmジャンプ	この線から、あち らの線に向かって、 できるだけ遠くま で両足でジャンプ してください	両足同時に30cm 以上のジャンプが できる	両足同時に5~ 30cm未満のジャン プができる	両足同時にジャン プができない			
30 手すりにつ かまって 階段を昇る	片側の手すりにつ かまって階段を 昇ってください	片側の手すりにつ かまって足を左右 交互に出し、4段昇 ることができる	片側の手すりにつ かまって2~4段昇 ることができる(足 の運び方は問わな い)	片側の手すりにつ かまって2段昇る ことができない			

LBC: 拘縮のため制限あり

SMA拡大Hammersmith運動機能評価スケール (HFMSSE) 追加モジュール

項目	指示	2	1	0	LBC	点数	コメント
31 手すりにつかまって階段を降りる	片側の手すりにつかまって階段を降りてください	片側の手すりにつかまって足を左右交互に出し、4段降りることができる	片側の手すりにつかまって2~4段降りることができる(足の運び方は問わない)	片側の手すりにつかまって2段降りることができない			
32 上肢の支持なしで階段を昇る	今度は手すりにつかまらずに階段を昇ってください	上肢の支持なしで足を左右交互に出し、4段昇ることができる	上肢の支持なしで2~4段昇ることができる(足の運び方は問わない)	上肢の支持なしで2段昇ることができない			
33 上肢の支持なしで階段を降りる	今度は手すりにつかまらずに階段を降りてください	上肢の支持なしで足を左右交互に出し、4段降りることができる	上肢の支持なしで2~4段降りることができる(足の運び方は問わない)	上肢の支持なしで2段降りることができない			
点数		2の個数	1の個数	0の個数			合計得点 /66

LBC: 拘縮のため制限あり

協力

東京女子医科大学病院 リハビリテーション部 理学療法士
志真 奈緒子先生、鈴木 隼人先生、中村 花穂先生、齊藤 翠先生



製造販売

(文献請求先及び問い合わせ先)

ノバルティス ファーマ株式会社
東京都港区虎ノ門1-23-1 〒105-6333

ノバルティス ダイレクト

TEL: 0120-003-293

販売情報提供活動に関するご意見

TEL: 0120-907-026

受付時間: 月~金 9:00~17:30 (祝祭日及び当社休日を除く)

ZOL00004JG0002
2020年5月作成